

2020年4月23日

当院で左心機能の保持された心不全で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】 2016年7月～2019年12月の間に心不全で入院された患者様のうち、左心機能が保たれた心不全で入院となった方

【研究課題名】 左心機能の保持された心不全患者の予後予測因子に関する後ろ向き研究

【研究責任者】 南長野医療センター 循環器科 医師 鈴木 翔

【研究の目的】 左心機能が低下した心不全に対する治療としては、薬物加療、デバイス治療（ペースメーカーなど）、カテーテル治療、補助循環治療などが既に確立されており、左心機能低下の程度や心不全の重症度・ステージに沿った治療方針がガイドライン等で示されています。その一方で、近年患者数が増加傾向にある左心機能の保持された心不全には現在確立された治療法がなく、併発疾患や症状に対する介入を行うことが推奨されているに留まります。左心機能が低下した心不全とは背景にある病態が異なることが報告されており、今後も予後予測因子や効果的な治療法の報告が待たれます。血液検査や心エコー図検査をはじめとした検査所見から、左心機能が保持された心不全症例の予後予測因子や効果的な治療法を報告することが本研究の目標です。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、内服歴、予後に関する情報（死亡や他院への入院歴など）、心不全などの入院歴、心臓手術歴、ペースメーカー・植え込み型除細動器留置の有無、身長、体重、肥満度、体表面積、血圧、脈拍、酸素濃度、心不全重症度・心機能分類、心電図：不整脈発祥の有無を含む、心エコー図検査、採血データ：血液一般検査、生化学検査：腎機能・肝機能・栄養・電解質・糖尿・脂質・心筋/筋性酵素、

脳性利尿ペプチド(心不全マーカー)

【研究期間】 研究許可日より 2023 年 12 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 南長野医療センター 循環器科 医師 鈴木 翔  
電話 026-292-2261(代表)